

# ボランティアだより

至誠ホームミナ・ボランティア通信

No,6



暑さも日に日に増しておりますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ミナではご利用者のワクチン接種が無事に終わり、今は職員への接種をしているところです。本格的な夏に向けて6月末には年に2回の植木の剪定も終わりました。納涼祭は今年もフロアごとの開催で“納涼大会”とし、昼食とおやつはお祭りメニューで調整中です。

## ミナの園庭

園内にはたくさんの植物が植えられていますが、中でも数種類の紫陽花は毎年の楽しみのひとつです。せっかくなので名前を調べてみようと思いましたが…なんと300以上の品種があることにびっくり!!調べまことはできませんでしたが、日々和ませてくれる紫陽花を花瓶に移して受付に飾りました。



裏の畑では去年以上の野菜が出来ています。1階多機能では、毎年胡瓜やトマトなどを植えていますが、今年はお花も植えてお散歩しながら楽しまれています。秋の芋掘りに向けて薩摩芋も生育中です。畑の南側はミナの北側になるので、2階の特養北のお部屋から車いすに座ったご利用者が畑を眺めることもあります。3階でもグループホームの皆様がお散歩しながら花を愛でたり、野菜を収穫しておかずの一品になることも( ^ ▽ ^ )。





七夕と言えば「織姫と彦星が年に一度逢瀬を交わす」というエピソードが有名ですね。実はこのエピソードは中国最古の詩集「詩経」にさかのぼるようで、日本に伝わったのは奈良・平安時代。江戸時代には幕府の公式行事となり、五節句の一つ「七夕(しちせき)の節句」として数えられ、庶民の間にも広まってきました。当時は天の神が降り立つ目印として、家の屋根の上に笹竹を立てていたそうで、「神を迎える」「災厄を水に流す」などの意味があったと言われています。また7月7日は「そうめんの日」。昔から中国では病を避けるおまじないとして、七夕に「索餅(さくべい)」と呼ばれる小麦粉などを練って縄のようにしたお菓子が食されていたそうで、これが変化してそうめんになったと言われています。徳川将軍の七夕の祝膳にもそうめんが出され、庶民の間でも贈答品として出回っていたそうですよ。みんなでも天の川を表現したおそうめんを頂きました。皆様の“災厄・病”が少しでもなくなりますように。。



## お知らせ

・『ボランティア活動センターこくぶんじ』から、毎年行われている夏のボランティア(短期ボランティア)受け入れについてのアンケートが来ました。今夏は館内での感染予防の観点から、“ワクチンを2回接種の方”とさせていただきます。また、今後の感染状況によっては受け入れをお断りする場合もあることを予めご了承ください。

宜しくお願い致します。

・引き続き「ボランティアだより」のタイトルを募集いたします。

至誠ホームミンナ 電話 ☎ 042-300-3700(星野まで)

皆様からのご意見を

お待ちしております。

メールアドレス [minnna@shisei.or.jp](mailto:minnna@shisei.or.jp)



旧盆の時期に流星群があるのはご存じですか?“ペルセウス座流星群”です。今年は8月12日から14日にかけて観られるそうです。毎年長野の奥地に行って見るのを楽しみにしていましたが、去年は言わずもがな…。東京でも「武蔵野の森公園」「奥多摩湖」「高尾山」で比較的星が見えるようです。夜にお散歩しながら…もたまにはいいかもしれません(^▽^)/。

